

第
13
回

こだわり食品フェア2018

ニュースリリース

2017年11月

1. 開催趣旨

近年、我々の食生活を取り巻く環境は急激な変化を遂げています。安全性の追求、海外からの低価格食品の流入、嗜好や食事スタイルの多様化。こういった環境の中、土地土地の気候風土によって生み出された個性豊かな地域食品をはじめ、原料や製法に特別なこだわりを持って作られる食品に改めて注目が集まっています。

また、年々高まる健康需要や急速に進む高齢化などを背景に、新しい技術や素材を用いて特定のニーズに応えるために研究開発された食品も続々と登場しています。

本フェアは、これらのニーズを背景に生まれた、時代が求める日本全国の「こだわりの食品」を一堂に集め、広く食品流通業界の皆様にご紹介させていただく展示会です。食の安全を守りながら、豊かで健康的な生活に貢献できる「食」を提案させていただきます。

今回も前回まで同様、今注目の「食」に関する4つの展示会がFOOD TABLE in JAPAN 2018の名称のもとに集まり、幕張メッセ全館を使い合同開催いたします。来場者の皆様には、より多彩で魅力的な商材をご提供させていただけるものと期待しております。

FOOD TABLE in JAPAN 2018

第52回 スーパーマーケット・トレードショー2018 / 第13回 こだわり食品フェア2018 /
デリカテッセン・トレードショー2018 / 第3回 外食 FOOD TABLE

2. 開催概要

名称 : 第13回 こだわり食品フェア2018

会期 : 2018年2月14日(水)～16日(金) 3日間 10:00～17:00 (最終日は16:00まで)

会場 : 幕張メッセ 11ホール

主催 : 一般財団法人 食品産業センター

前回入場者 : 86,768人 (延べ3日間。合同開催展含む)

スーパー、百貨店、生協、CVSなどの小売業を中心に、商社、食品卸、フードサービスなどが来場。

入場料 : 5,000円 (税込・招待券持参者は無料)

3. 出展者

全国33の都道府県から120小間以上のスペースに160を超える企業・団体が参加いたします。

今話題の個性豊かな地域食品をはじめ、素材・製法にこだわった食品が、全国各地から一同に集まります。

また、20社を超えるの新規出展の企業が参加しており、これまで以上にバラエティーに富んだ商品をご提供させていただきます。

バイヤーの皆様には新たな発見をお約束しますし、見て楽しめる、食べて楽しめる、日本の食産業の魅力を心行くまでご堪能いただき、日本のこだわり食品の底力を体感いただければ幸いです。

2017年11月22日

報道関係各位

デリカテッセン・トレードショー実行委員会

中食産業の最新情報を発信する商談展示会

2018年2月14日（水）～16日（金）幕張メッセで開催します。



デリカテッセン・トレードショー2018

デリカテッセン・トレードショー実行委員会（実行委員長：三科 雅嗣）は、2018年2月14日（水）から16日（金）まで、幕張メッセにおいて、中食産業（お弁当・お惣菜）に特化した商談展示会「デリカテッセン・トレードショー2018（略称：DTS2018）」を開催いたします。

本展示会は、FOOD TABLE in JAPAN 2018において中食産業に向けた情報発信を担うものとして開催し、すべての来場者に最新情報を発信するとともに、他業態と同時開催することにより相乗効果をもたらし、新たなビジネスチャンスを生み出す場として開催いたします。

開催概要

- ◆名称：デリカテッセン・トレードショー2018
- ◆会期：2018年2月14日（水）、15日（木）、16日（金）10:00～17:00（最終日は16:00まで）
- ◆会場：幕張メッセ 4,5ホール
- ◆主催：デリカテッセン・トレードショー実行委員会
実行委員長：三科 雅嗣〔(株)いちやまマート 代表取締役社長〕
※以下、副委員長2名、実行委員9名、出展者代表委員21名、アドバイザー4名 で構成
- ◆協賛者：キューピー株式会社 / 共同印刷株式会社 / 国分グループ本社株式会社 / 昭和産業株式会社 / 株式会社食研 / 株式会社白子 / 日清オイリオグループ株式会社 / 株式会社日本アクセス / ヤマサ醤油株式会社（50音順）
- ◆ウェブサイト：<http://www.delica.jp/>
- ◆開催規模：88社・団体 251小間（11月14日現在）
- ◆入場料：5,000円（招待券持参者は無料、同時開催展共通入場可）
- ◆来場者数：86,768名（前回実績・同時開催展含む）
- ◆同時開催：
第52回スーパーマーケット・トレードショー2018 主催：（一社）新日本スーパーマーケット協会
第13回こだわり食品フェア2018 主催：（一財）食品産業センター
第3回外食 FOOD TABLE 主催：外食 FOOD TABLE 実行委員会

主催者企画

◆お弁当・お惣菜大賞 2018

7回目となる今回は、過去最多の 52,283 件のエントリーをいただきました。結果の公開は 2018 年 1 月 10 日(水)を予定しており、会期初日の 2 月 14 日には表彰式および受賞者によるパネルディスカッションを行います。

会期中は受賞商品の展示を行う他、「受賞商品の味が知りたい。」という声に応えるため、フードコートにて一部商品を販売します。

ウェブサイト：<http://www.obentou-osouzai.jp/>

◆デリカスタディ

デリカに関する情報提供の場を求めるニーズに応えるために、デリカテッセン・トレードショーの開催日だけでなく、年間を通してデリカに関する勉強会を開催し、売れるメニューの提案や課題共有を図ります。今回の DTS2018 では、2017 年 10 月 26 日(木)と 2018 年 1 月 25 日(木)の 2 回開催となります。

◆惣菜デリ最前線

今回新たな企画としてお弁当・お惣菜に関する情報を満載した情報誌「惣菜デリ最前線 2018」を発行し、会場内で無料配布します。お弁当・お惣菜大賞 2018 受賞商品・売場の紹介を行う他、専門家・コンサルタント執筆による業界動向やトレンド、デリカに力を入れている小売業の販売現場や取り組み状況のレポートなどを掲載する予定です。

◆ かつ煮食べくらべ体験 STAND

「一般的なかつ煮」と「減塩・低糖質など健康訴求食材を使用し旨味等を付与したかつ煮」の食べくらべ体験をしていただきます。

協力：旭トラストフーズ株式会社(国分グループ) / キューピー株式会社 / シーピー化成株式会社 / 株式会社食研 / ヤマサ醤油株式会社 他

◆ビジネスマッチング@FTJ2018 (9 ホール：食のマッチング商談会)

事前申込制で流通バイヤーとの個別商談会を開催。直接的な商談の場を提供しています。

2 月 14 日(水)～2 月 16 日(金) 事前エントリー制

主催：(一社) 新日本スーパーマーケット協会、東京商工会議所

以上

外食・小売・中食業界の垣根を超えた日本最大の“食”の商談展示会 < FOOD TABLE in JAPAN 2018 >

第3回 外食 FOOD TABLE

会期：2018年2月14日(水)・15日(木)・16日(金) 会場：幕張メッセ

FOOD TABLE in JAPAN 2018主催者コンソーシアムは、2018年2月14日(水)、15日(木)、16日(金)の3日間、幕張メッセ 全館において、食にまつわる4つの商談展示会を合同で開催いたします。

「FOOD TABLE in JAPAN 2018」は、“食”に関する最新の情報・商材・サービスが一堂に集結する国内最大級の商談展示会で、前回は86,768名の来場者を集めました。

「第3回 外食 FOOD TABLE」とは？

「第3回 外食 FOOD TABLE」(主催:外食 FOOD TABLE 実行委員会)は、「FOOD TABLE in JAPAN」の中で外食業界の商品・サービスの分野を担っています。「食の外部化」に対応する小売・中食関連のバイヤー・購買担当者に向けて、小売店のイートインコーナー、中食・弁当惣菜店に適したメニュー・設備提案など、業務用商品の販売促進、販路拡大、新規参入の促進を目的に新たな需要に対応すべく開催いたします。

「外食 FOOD TABLE実行委員会」とは？

当実行委員会は外食産業の活性化を目的に、「ラーメン産業展」、「居酒屋産業展」など外食業界における専門展示商談会「外食ビジネスウィーク」を、東京・関西・九州で合計20回以上に渡り開催してまいりました。既に外食業界のバイヤーからは「年に一度の仕入れの場」として、また出展社からは「新商品発表」、「新規顧客開拓」、「販路拡大」の場として多くの期待と注目を集め、確固たる地位を築いています。

「第3回 外食 FOOD TABLE」の特徴

◆「食」産業の新たなトレンドやビジネスモデル創出の場

外食業界のバイヤーを始め、小売・中食など「食」業界に関わる経営者やバイヤーが来場。

外食・小売・中食それぞれの垣根がますます低くなり、小売・中食業態の「食の外部化」が活発化しています。コンビニやスーパーマーケット・中食の店舗が、イートインコーナーの増設や外食事業への新規参入行方などの動きがある中で、業界の垣根を超えた「外食+αの領域」、「新・外食領域」が誕生しています。その「食の外部化」をより一層促進する需要創造・情報発信の場となります。

◆「食」業界に携わる企業にとって、業界全体への新規顧客開拓、販路拡大の場

同時開催展として、「スーパーマーケット・トレードショー」、「こだわり食品フェア」、「デリカテッセン・トレードショー」を開催するため、「食」に関わるあらゆる販路開拓が可能です。「食」業界全体への新規顧客開拓、販路拡大、PR、マーケティングを効率的に行うことができる場となります。

◆「食」業界における日本最大級の展示会

4展を同時開催することで、外食・小売・中食を網羅した「食」業界に携わる方々の来場を見込んでいます(前回実績86,768名/会期3日間)。また、出展規模、来場者数とも日本最大級の「食」の展示会として、幕張メッセ全館を利用し、大々的に開催します。

◆「食」業界の課題を解決する企画を展開

●ヘルシー&ナチュラルEXPO

高齢化、女性の社会進出、単身世帯増加など「食の外部化」が進むことで、「健康的な食事」を摂りたいというニーズが高まっています。そのような消費者ニーズを満たす、ヘルシー商材が集まるエリアです。「自然食品」、「ヘルシー食材」、「スーパーフード」、「無添加、無農薬食品」などの商材を持つ企業が出展対象となり、メニュー開発に「ヘルシー」、「ナチュラル」という付加価値を与え、他店との差別化を図る飲食関連企業が来場対象となります。

●外食アルコール・ソフトドリンクEXPO

ワインの消費量拡大、国内外クラフトビールの流行、ハイボール・サワー・リキュールといったドリンクメニューの多様化や、ノンアルコール飲料の成長など、飲料市場全体は厳しいながらもメーカーによる様々な戦略やインバウンド需要により、勢いを維持しています。客単価を上げる重要な商材であるアルコール・ソフトドリンクが集まる当エリアには、より付加価値の高いメニュー提供を意識している飲食店経営者、バイヤー・購買担当者が来場します。

様々な要因が需要を後押しする外食業界の現状

外食業界は大きな転換期を迎えています。「人手不足」、「食の安全安心」、「喫煙環境への対応」などの課題が挙げられる一方、世界的な「和食」ブームに加え、2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック、さらには「統合型リゾート・IR実施法案」成立を見据え、インバウンド需要の更なる拡大が見込まれます。昨年、1年間で訪日外国人客が日本国内で消費した金額は約3.7兆円で、「食」業界にも大変大きな追い風が吹いています。また、「女性の社会進出」、「単身世帯の増加」、「高齢化の進行」、「生活スタイルの多様化」などを背景に、「食」への向き合い方が多様化し、「食」業界全体の市場構造が変化を続けています。

第3回 外食 FOOD TABLE 開催概要

- 展示会名 : 第3回 外食 FOOD TABLE
- 会期 : 2018年2月14日(水)・15日(木)・16日(金) 10:00~17:00(16日(金)は16:00まで)
- 会場 : 幕張メッセ
- 主催 : 外食 FOOD TABLE 実行委員会
- 特別企画 : ヘルシー&ナチュラルEXPO、外食アルコール・ソフトドリンクEXPO
- 同時開催 : 第52回 スーパーマーケット・トレードショー2018
第13回 こだわり食品フェア2018
デリカテッセン・トレードショー2018

《 第3回 外食 FOOD TABLE に関するお問合せ 》

外食 FOOD TABLE 実行委員会(トレードショーオーガナイザーズ株式会社 内)
〒150-0012 東京都渋谷区広尾1-1-39 恵比寿プライムスクエアタワー11F
TEL : 03-6869-6571 FAX : 03-6418-5797 E-mail : ft@trso.co.jp